

西の湖活性化へのアイデア

2021 年度東京大学 FS チーム

勝屋美怜・小関愛実・近恵里奈・藤内道広・中西真由・山内瑞樹

1. 提案コンセプト
2. アイディア1：ヨシ景観の保全
3. アイディア2：観光振興
4. まとめ

近江八幡市の提案

- ・ 西の湖の回遊性の向上
- ・ 西の湖周辺の観光活性化
- ・ 西の湖周辺の賑わい創出

西の湖を取り巻く周辺環境



近江八幡市説明資料より引用

現地調査で感じた観光客の偏り

写真撮影：藤内



人が多く集まるラ・コリーナ

人気が少ない水郷巡り

数百mしか離れていないのに変わる観光客の数

現地調査で感じた西の湖の良さ



西の湖の景観

人間の生活と自然環境が
結びついた美しい文化的景観

→西の湖にしかない重要な
地域資源



写真撮影：藤内

コンセプト

アイディア1

アイディア2

まとめ

現地調査で感じた西の湖周辺の目的地の少なさ



美しい景観がある一方、
西の湖周辺に
目指す目的地が無い…

➡ヨシ原の保全と目的地の
創出により西の湖の魅力向
上を図る！

図作成：藤内

西の湖の持つ魅力を押し出し、より多くの人に来てもらえる場に



①西の湖の地域資源である **ヨシ原の保全**

②立ち寄りやすくなる **目的地の創出**



新しいヨシとの関係を築け！

3つのヨシプロジェクト提案！

ヨシ班：中西真由 藤内道広 近恵里奈

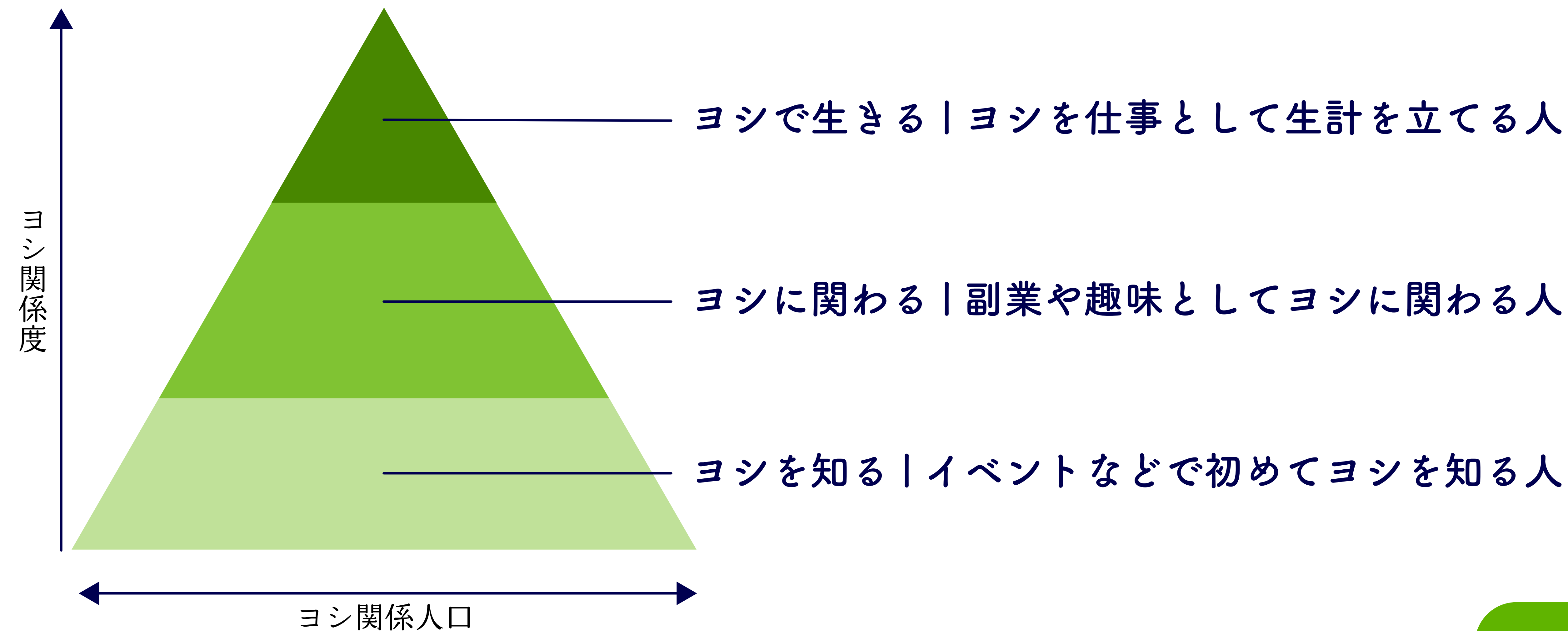
1. ヨシ原の文化的景観の喪失
2. ヨシ産業の後継者不足

ヨシが使われなくなった
管理されなくなった

現代におけるヨシとの
新たな関係性を模索！

時代の変化とともに
生活の中でヨシとの
関りが減った。

ヨシとの多様な関わり方



図作成：藤内

未来へ続く！

ヨシ × アートフェス！

コンセプト | 入口 & 継続性でヨシフェスをより楽しく未来へ！

問題意識

- ・ ヨシのことを知っている人が少ない印象
- ・ 継続的に開催されるイベントが多くない印象

提案

- ① 多くの人に参加しやすいイベントを開催する，ヨシを知る入り口に
- ② イベントを継続的に開催する

イベントに参加する

ヨシをより多くの人に知ってもらうイベントを開催しヨシとの接点を作る！

繰り返し参加する

イベントを企画する側に

なぜアートなのか

入口

- ・ ヨシを知らない人も、「アートフェス」に興味を持って来る
→ ヨシをより多くの人に知ってもらえる

継続性

- ・ 地元のアーティスト or 芸術好きの方々が今後運営主体と
なっていくことを期待
- ・ アートという、ヨシ + 1つコンセプトを入れることで、広
く人を呼べる

最初は観光協会によって企画・運営されていたイベントが、地元の人々の団体によって企画・運営されるようになり、その後も多くの観客が訪れている成功事例

成功の要因

- ①企画側が楽しめる範囲で企画
- ②地方創生+「音楽」が二大コンセプト
【地域活性化+何か（芸術など）】のコンセプト

——➡ 西の湖でも「芸術性」をコンセプトに取り入れる！

プログラム内容 | ヨシ × アートフェス

② イベントの種類も 場所も広がって行き

ヨシ風景のスケッチ
コンテスト



<http://shigahochi.co.jp/info.php?type=article&id=A0005176>

ヨシ葺き屋根の
ミニハウスづくり



<https://colocal.jp/news/111959.html>

① アクティビティ単体で始め

地元アーティストの方とヨシを使った
作品を作るイベント



https://azuchi-museum.blogspot.com/2016/09/blog-post_25.html

丸立てライトアップ



<https://higashiomi-omihachiman.goguynet.jp/2020/09/26/yosiakari/>



③ その他の工夫も取り入れ

- ・ 昔を知る地元の人をお招きし、歴史を語っていただく
- ・ 既存のツアーとの連携（夜間に屋形船ツアー・ヨシ灯り展等に参加する人の昼間の活動の場として提供）

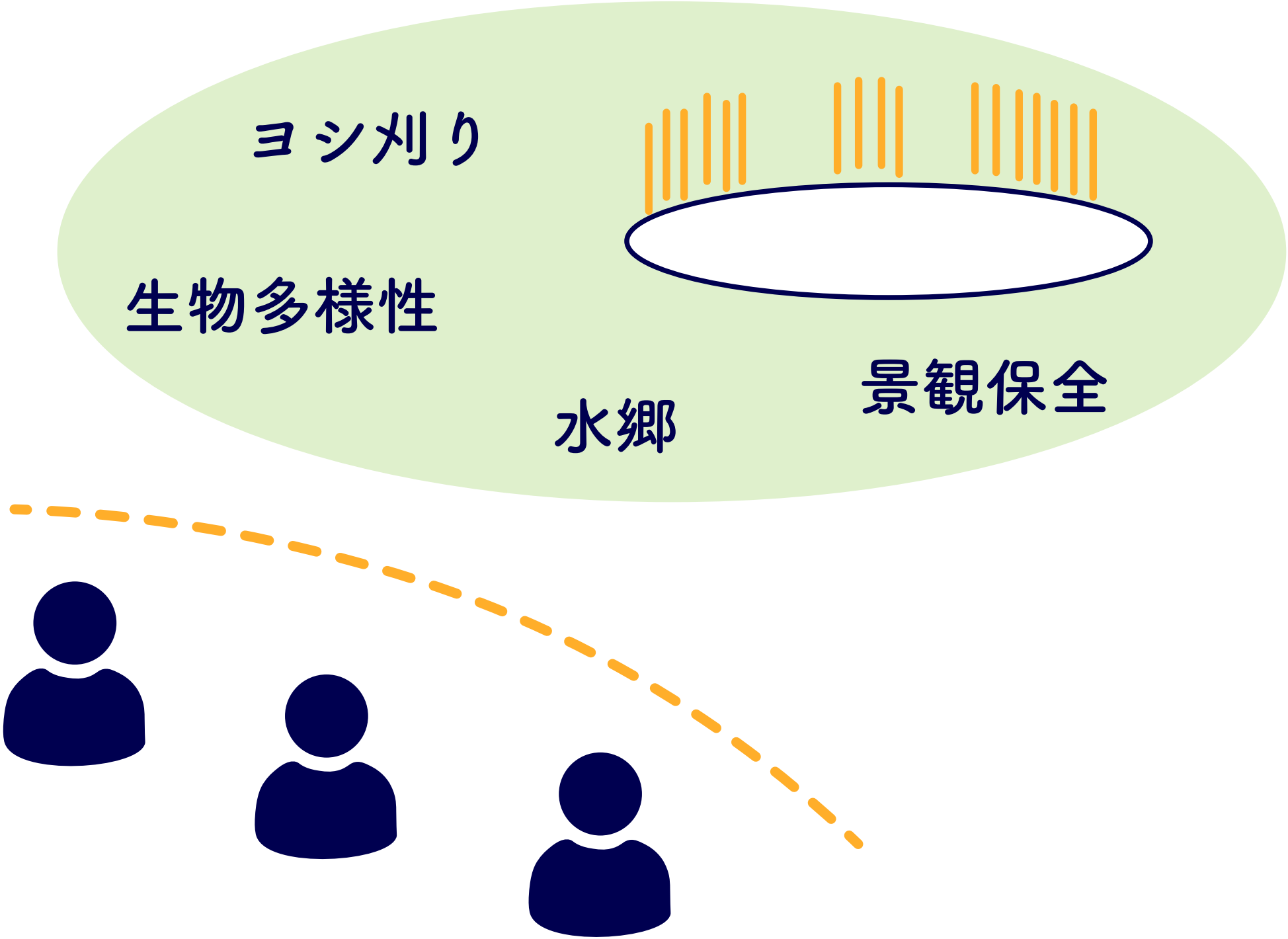
⇒ 将来的には大きな「ヨシ × アートフェスに」！！

ヨシへの愛着を育む！

ヨシオーナー制度プロジェクト

コンセプト | ヨシを自分事として捉えるヨシオーナーの創出

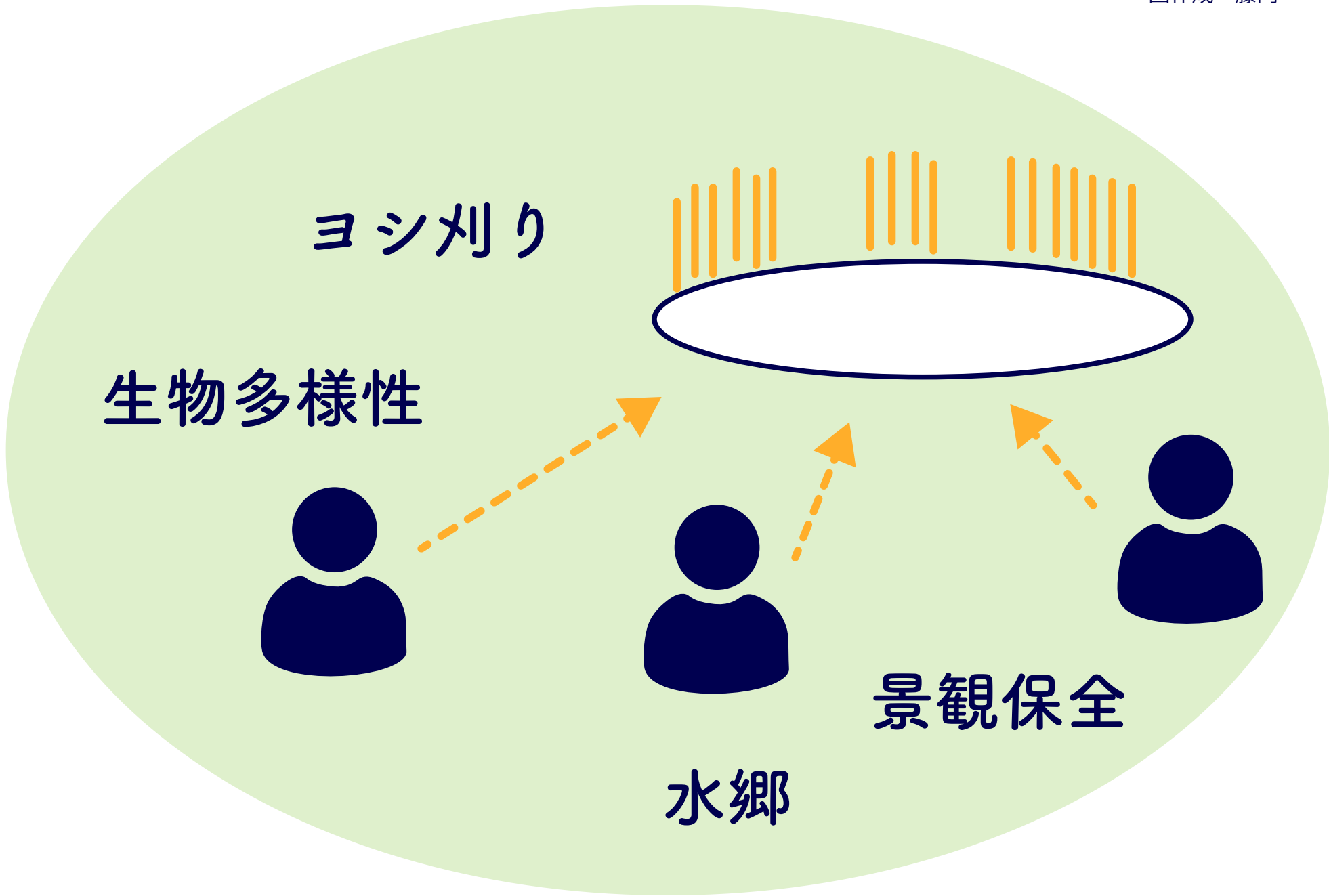
現状



西の湖・ヨシについて他人事だと思っ
ている人が多い現状

ヨシを自分事として考える

図作成：藤内



ヨシへの愛着を持ち、ヨシのことを自分事として
考えるヨシオーナーを増やす。

プログラム内容 | ヨシのオーナーになろう！

プログラム内容

- ・年会費を払ってヨシ地一区画のオーナーになる。
- ・四季折々の体験コンテンツや勉強会の参加やオーナー同士の交流会、地元の方との交流会などに参加できる。
- ・ヨシ商品の返礼品が年度末に届く

コンテンツ例

水郷巡り体験



<https://www.biwako-visitors.jp/spot/detail/1996/>

ヨシ編み体験



<https://shiga.seikatsclub.coop/news/detail.html?id=1000007188>

返礼品例

ヨシ簾



<https://tainaka.co.jp/store/021-17/>

オリジナルヨシ
タペストリー



<https://jp.mercari.com/item/m90876783409>

西の湖のヨシを「稼げる」ヨシに！
ヨシ原料のエシカル商品プロジェクト

問題意識 | 少量高付加価値化により、ヨシ産業を活性化する

- ・ヨシ原の管理や、職人の後継問題などの諸問題の元には**ヨシ需要の低迷→収益性の低下**がある。
- ・ヨシ葺き屋根や簾といった伝統的なヨシ製品は、現代での生活では需要が小さくなってきている。

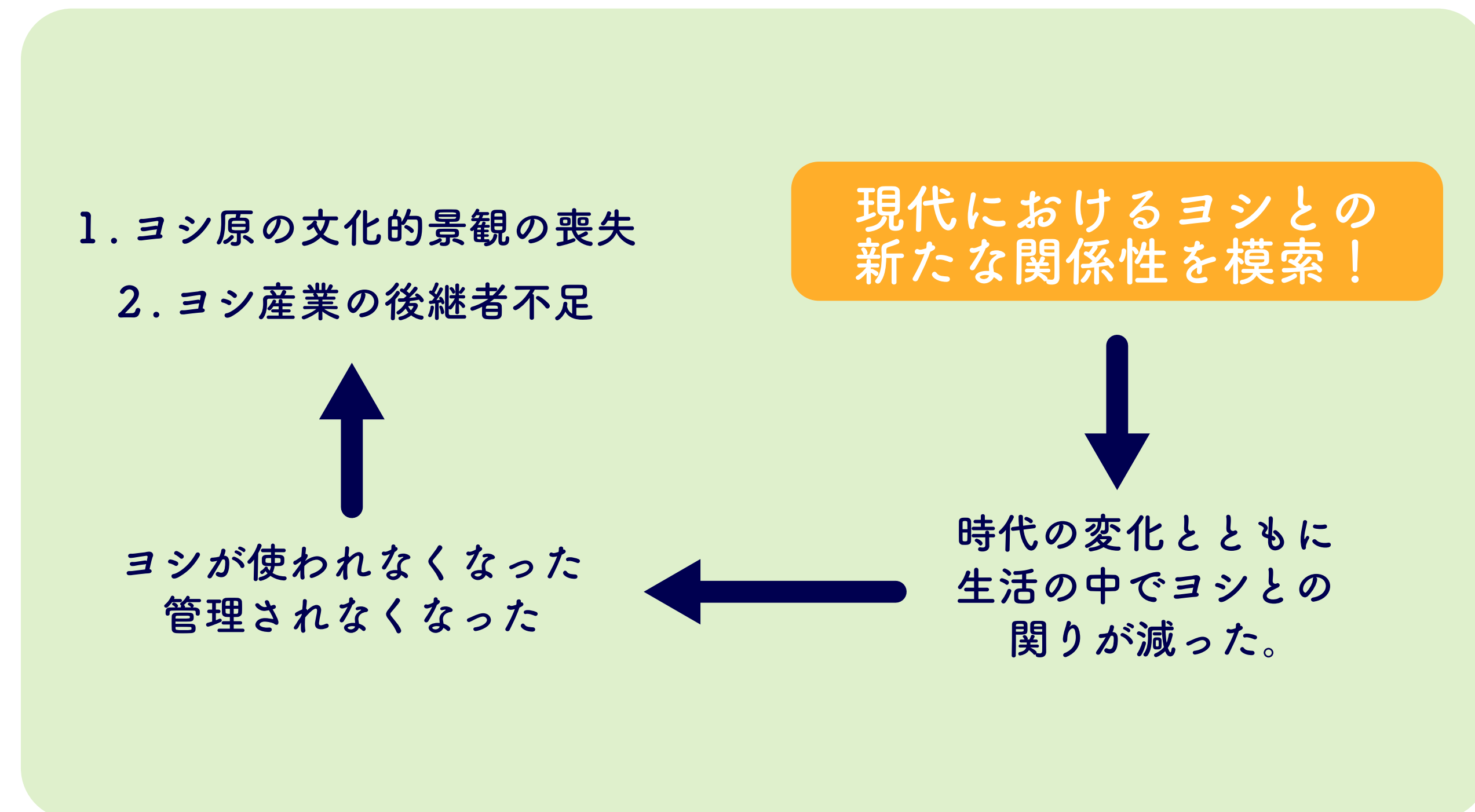


新たなヨシ製品を売り出し、新たな需要を喚起する必要があると考えた。



高付加価値化のためにエシカルなヨシ製品を売り出す。

←西の湖のヨシは良質で高級製品に適している。



ヨシが抱える課題図

エシカル消費とは？

「倫理的な」という意味で、環境や人権、社会に配慮した消費活動のこと。
SDGs の広まりとともに注目を受けている。若年層を中心に、エシカル消費に関心が高く「価格が高くても環境や社会に配慮された商品を買いたい」層が存在。

例 1：NADEL

オーガニックコットンを使用したアパレル



サイト：<https://shop.nadell.jp/?pid=165975515>

例 2：gleam

廃材を利用したエシカルな家具を販売



サイト：<http://friends.r-store.jp/?p=571>

なぜヨシとエシカル？

1. ヨシは自然浄化作用を持ち湖岸の生物の生息、環境に役立っている。
2. 人間の暮らしの中で使われ、循環型・持続可能で地産地消の暮らしに役立ってきた歴史がある。
3. ヨシを消費することで地域の景観保全、文化保全に役立つ。

製品事例

ヨシ糸を使用したラグマット ヨシ紙のランプシェード



<https://item.rakuten.co.jp/flaner/10020540/>



<https://www.art-may.jp/%E5%92%8C%E7%B4%99%E3%81%AE%E3%81%82%E3%81%8B%E3%82%8A/%E3%83%A8%E3%82%B7%E3%81%AE%E3%81%82%E3%81%8B%E3%82%8A/>

ヨシ糸のアパレル製品。過去にペーパーヤーン（ヨシと麻の合成繊維）のアパレル製品事例も



<https://readyfor.jp/projects/yoshi-ito>



ヨシで編んだ椅子
ヨシストロー
などなど…

https://www.hik.shiga-irc.go.jp/research_develop/outcome/yoshiseni

現在のヨシ商品の問題点

- ・認知度が低い
- ・売っているところが少ない

➡ どう届けるか

・フリーマーケットでの販売

ヨシフェス（提案の一つ目）の一部としてマーケットを開催。ヨシ製品以外も販売して集客することで、ヨシに興味がない・少ない人にもPRできる。



https://www.irasutoya.com/2013/10/blog-post_5150.html

・クラウドファンディング

新規製品を開発する資金集めとして活用。

応援の気持ちでお金を出してもらう。

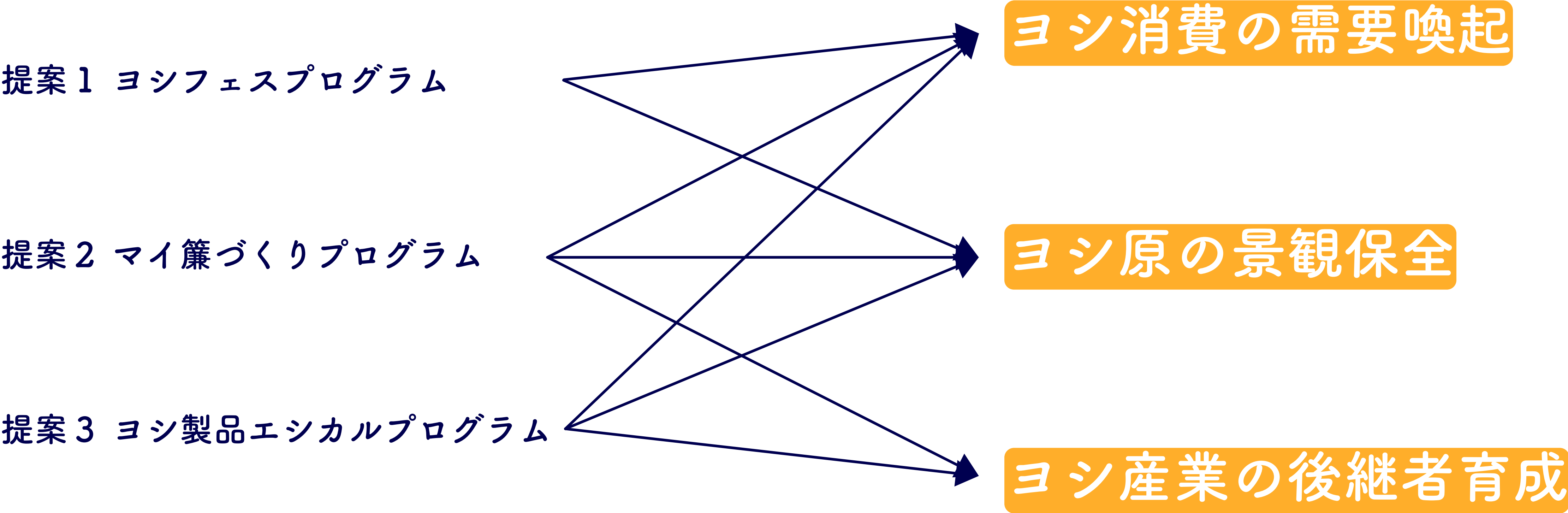
ヨシ製品を返礼品とすることで間接的に販売する。

参考：大阪府交野市の事例

<https://readyfor.jp/projects/yoshi-ito>



<https://www.chance.com/media/sigototyusumaho5698/>



道の駅をつくろう！

訪れたくなる西の湖を目指して

道の駅班：勝屋美怜 小関愛実 山内瑞樹



訪問の動機づけのために.....

「目的地」創出の必要

知名度

まずは存在を知ってもらう

気軽さ

訪問のハードルを下げる

仕掛け

魅力をつたえ、関係人口を増やす

車と自転車、いずれの利用者も訪れやすい目的地作り

知名度

「道の駅」のネームバリューを活用
積極的な広報

気軽さ

多機能化
オープンな雰囲気づくり

仕掛け

体験アクティビティ
地域の共通プラットフォーム } 後述

道の駅は

- ・地域のゲートウェイ機能
- ・地域交流の拠点
- ・道の駅自体の目的地化

参考：小規模道の駅の事例

「道の駅江差」（建築面積 87.4m²）



出典：<https://esashi.town/shopping/page.php?id=189>

など**多様な機能**をもち、その役割は広がりつつある。
これにより、特に**知名度**と**気軽さ**を向上させる。

既存施設

（西の湖すてーしょん）

湖畔随一の眺望とアクセス性。
喫茶スペースも備える。

地元住民の利用が主眼であり、
観光利用は多くはない。

既存施設を発展させるか、新たに
建設するかは今後検討。



出典：<https://azuchi-shiga.sakura.ne.jp/nishinoko-st.html>

ゆっくりとした
時の流れを楽しんでもらう

- ・人が多くない＆自然に囲まれた、西の湖ならではの空間を生かす
- ・賑やかな観光やアクティビティよりも、ゆっくり過ごしてもらうことを重視

西の湖を知ってもらう

- ・西の湖のリピーターを増やす
- ・西の湖のサポーター、つまり西の湖の魅力を伝えたい！西の湖を保全したい！というような人を増やす

コンセプト

ゆっくりとした
時の流れを楽しんでもらう

西の湖を知ってもらう

コンテンツ

西の湖を眺めながら銘菓とお茶をいただく

ものづくり体験

西の湖を知るアクティビティ

西の湖の豆知識を掲示

インテリアにヨシを活用

西の湖の四季を写真展示

西の湖ならではの体験の提供

体験型道の駅の事例

立地を活かす

海沿いや川沿いに立地

水の郷さわら

水上アクティビティ、自然体験

ボート、カヌー、観光船 / 自然観察

付近に農場が存在

道の駅ましろ

農業体験

付近の農園で収穫体験



道の駅ましろ HP

そのほかにも…

体験の提供が中心

道の駅こぶちざわ



スパティオ体験工房 HP

そば打ち、パン作り、陶芸、押し花等

西の湖ならではの体験コンテンツ

ゆったり楽しむ



万吾樓

銘菓とお茶でゆったり

近江商人に思いをはせて、、、
手作り **でっち羊羹**



シニアせんねん灸 HP



上州屋

すくも ファイヤー
に癒される



新たな工芸品
やさまる

琵琶湖博物館



滋賀のおいしいコレクション

世界で一つの
真珠 アクセサリー



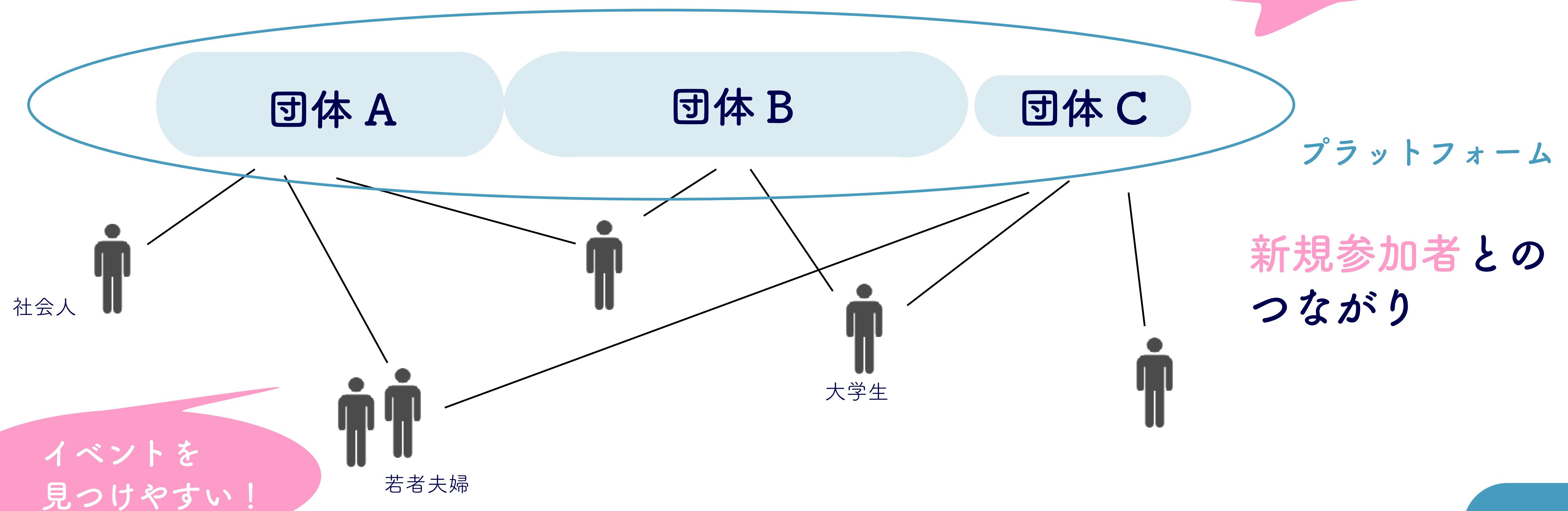
多様な表情を持つ
西の湖の四季

西の湖を知る

イベント時の受付の場にする
各団体が当番制で運営

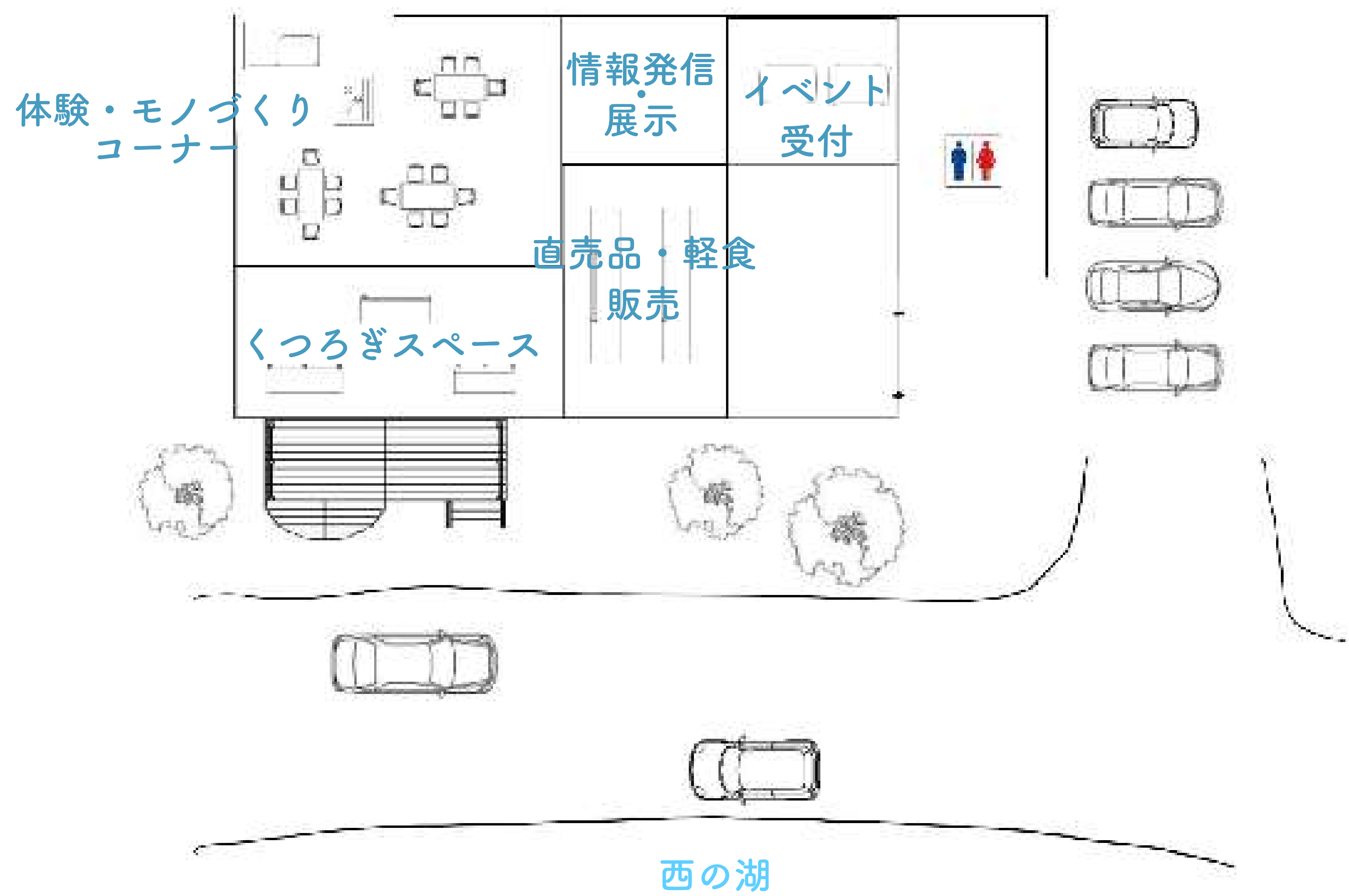
団体^{同士}のつながり

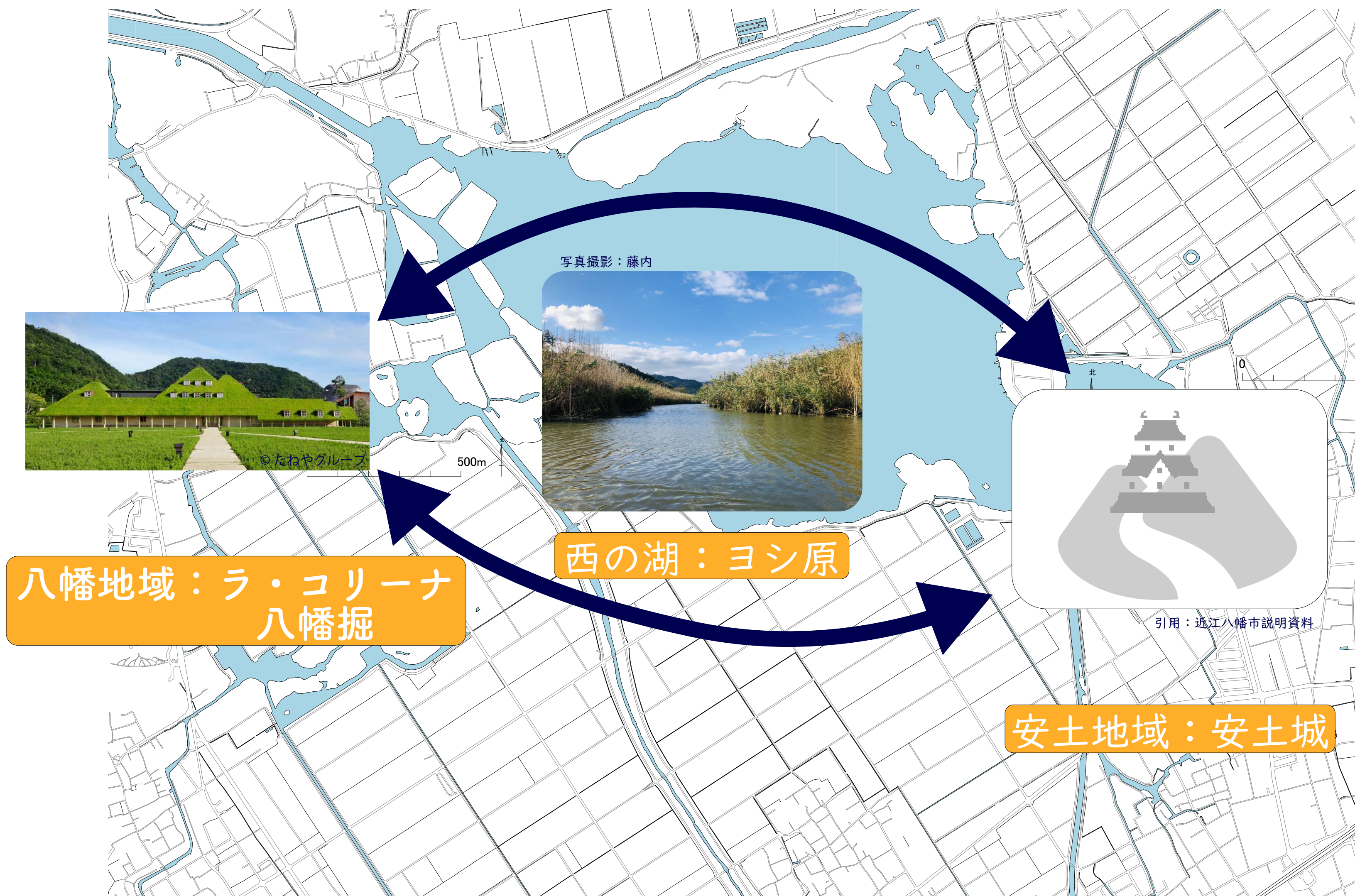
小団体もイベントを
開催しやすい！



新規参加者との
つながり

イベントを
見つけやすい！





それぞれの地域の
個性が輝く町に！

観光客にとっても
地元住民にとっても
地域間の往来が増える！

ご清聴ありがとうございました